京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年

本紙定價 一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）

廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲特別欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六二）

發行所 京城新報社

雜錄

韓京より

北韓山生

▲文官任用令第三條の規定に依り、奏任官に任用せらるべき、資格を有する者は試補、同令第三條の規定に依り判任文官に任用せらるべき資格を有する者は見習として各官廳に屬せしめ、其の廳又は他の官廳に於て事務を練習せしむる事となり、其の官制を去二十日の官報を以て公布せられ候、

▲吾輩は此の官制の何故に早く制定されざるかを訝かしみ居たる者にて候、從來新參の官吏が吏務に熟練せざるが爲めに其位置を失墜したるの例無きを以て見れば、事實上試補たり見習たる練習は之れを爲しつゝありしものならんも、其の試補又は見習なる名稱の下に在りて練習する者とは其位置に對する觀念に於て既に大差あり其習得する處豈啻霄壤無きを得んや、換言すれば試補又は見習たる者は、其が知らざるを知らずとして余念無く練習を積むを得べきも、從來の新任官吏は、時に或は知らざるを以て知れる眞似するの余儀無き場合も多かりし也、結果以て推すべきにて候、

▲叙上の狀態なるのみならず、從來新任の文官中、學校出の奏任文官などには、其の吏務に練達せざることを以て反つて一種の誇りとせる不心得な者すら少なからざりしは厭ふべき事どもに有之候、

▲故に一般に高等文官は、彼の武官が下士卒に訓練をも受け居るが爲め、表面武骨一遍なるが如くにして然かも多角多面、假へ刀筆の吏とするも亦優秀なる技倆を顯はし得るが如きには比すべくもあらざる遜色を示す也、されば吾等は今其の官制發布に對して期待する處甚だ多からざるを得ざる理由を有するものに候

雜錄

鯨屋伊右衛門 翁の鯨談（十）

▲現今本邦に於る鯨體測定法 日本捕鯨水產組合にては定款に於て鯨體の身長は下顎の尖端より臍部に沿ひ三ツ合（尾岐）に至る迄の長さを測るものとす 但し捕鯨の際は身長の測定に算入せず と規定せるを以て現時の我捕鯨業者は一般に此の方法を以て鯨の長短を測定せり、而して其用尺は總て曲尺を以て標準とし鯨尺を用ゐざるものとす、故に現今普通鯨何尋と稱するは舊來の慣習の如く曲尺五尺を以て一尋と爲す也

（五〇）昔の鯨税 偖英國の昔の習慣では、海岸三哩以內で取れた鯨は、王の財產に屬したもので頭は王に、尾は女王に獻上した、普通は誰でも捕つたものが、其財產とする權利があつて、船から繰出した繩の付いて居る銛が、鯨の體に刺殘つてゐれば、銛を投げた人の所有に歸す事に爲つてゐた、日本でも寛文九年即ち今から二百四十年前、下總銚子浦の鯨税と云ふのは、突鯨は落札金の二十分の一を運上さして領主に納め、沖合に流るゝ鯨を見出し曳付た者は、流れ鯨と云て十分の一を納め自然に岸に寄り流れたものは寄せ鯨と云て三分の一を納むる事に爲つてゐたが是等は皆捕鯨特許權の運上である。

▲現今本邦の捕鯨税 日本捕鯨業水產組合最近の調査に據れば現今我邦に於て捕鯨税を課する地方は僅に七縣にして各地方に依り税率及課税方法を異にせり、即ち山口縣は賣上高の一萬分の八十五、千葉縣は賣上見積高の千分の二十、和歌山縣亦賣揚高に應じて區々に課税し高知縣は脊美一百圓、長須、野曾、座頭は二十圓、其他の鯨は八圓十尺未滿の鯨は二圓の頭別課税を爲し宮城縣は脊美一頭五十圓、長須、野曾、座頭各一頭十圓、其他頭別五圓を課し三重縣は種類を區別せず總て一頭十五圓とし長崎縣は地網の捕鯨には脊美、白長須各百七十圓、座頭、長須各七十圓、鰮、克鯨其の他各三十圓等の課税を定むれども諸威式捕鯨業は遠洋公海の捕鯨行爲にして地方税を課すべき性質のものにあらずと認め、同縣下にて解剖したる鯨一頭に付三十圓の解剖税を賦課し、而して是等各縣の捕鯨税には何れも町村の附加税を殆んど本税と同額に近く課するを以て負擔は甚だ苛重なり、元來地方の捕鯨税なるものは舊網式の時代には縣の領海內に於ける永代特許の營業なるを以つて運上を徵せらるゝも餘儀なしと雖も諸威式捕鯨業となりては滊船以て公海を馳驅して捕鯨を行ふものなれば毫も縣內に於て業務の資料を得ざるに拘はらず地方税を賦課せらるゝは失當の嫌あり左れば內務省にては昨年末各地方に內訓を發して捕鯨税を各地を通じ附加税を合せて賣揚價格の千分の二十五以上に上るべからずと訓示したりと云ふ。

（五一）捕鯨熱の最盛期 先づ鯨に關する說明は、大抵是迄の話で盡したと思ふ、日本で鯨熱の起つたのは、三十九年から四十年の間で、新聞社の方では捕鯨船に便乘して、捕鯨の壯快な實況を世間に吹聽するとか、會社の方でも文士を招待して、鯨の思想を擴めて貰ふと云ふ樣な方法を取つたり、一方では大鯨を東京の兩國河岸に曳附けて興行を打つものが出來、大阪近くでは堺の淡海岸に繋いで見せたり、夫は〳〵却々盛なもので澤山な會社が出來たのも此一年間であつた、今日でこそ新式の捕鯨は十分に發達して政府の奬勵も今では必要が無い位に發達してゐるが最初は仰々容易ではなかつた。

●德川蠶業所の成績

平南觀察道所管德川蠶業練習所は過般東京西ヶ原蠶業學校の卒業生にして蠶業及織物等に關し堪能なる技術を有する邦人女教師を傭聘し且養蠶に關する新式器具萬端を日本內地より取寄せ同地其他附近より女生徒を募集し養蠶業及德川郡に於ける特產物たる紹織の改良に就き各生徒へ敎授するの傍一般に對し右に關する有益なる新法の普及に努めつゝあるが目下同練習所には約五十名の女生徒あり何れも精勵以て蠶業の練習に從事し一般に於て其業に熱心に且其成績も大に良好なるものある趣きなれば同練習所に於ては今後尙出來得る限り養蠶器具其他に對する便宜を與へ斯業の發達普及を圖る筈なりと云ふ因に目下同練習所にては夏蠶の養成中なるが其內一般練習生として改良紹織の新法に從事せしむる筈なりと

●韓國牛皮の改良法

韓國に於ける牛皮の輸出は巨額にして是れを明治二十三年以降の統計に見るに多きは百萬圓に上り少くとも六十萬圓を下らず實に物產の少なき韓國にありては有數の輸出品たり然るに日本に於て兎角氣受け宜からず隨つて價格落ち收入は數量と伴ふ能はざるに至る是れ品質の粗惡なるに基因するを以て改良を施したる曉には同數量によつて收入を增加する事を得べし元來韓國製の牛皮は無數の穴ありて甚しきは使用に堪へざるものあり其の爲め惡評を招く次第なるが是れ病疾に際して刺絡として牛體に針を刺して血を絞り治療したる痕跡なり故に牛皮の改良を圖るには此方法を禁ぜざる可らず農商工部に於ては過般各道にも注意を促したるが尙は忽諸に附する能はざるに依り適當の方法を講ぜんと目下研究中なりと

文苑

▲春畝公詩存拔萃

二十二年紀元節恭賦

萬機獻替二十年。與憲編成奏御前。
放眼泰西明得失。融心上世極精研。
中興大業體天祖。開國宏謨溯昔賢。
更始偕民至尊志。千秋瞻仰帝威宣。

講談

大岡政談 越後傳吉 第五回

旭堂南陵講演

梅「お母アどうかしておくれな」はや「何をね」梅「何をといつて嫌だワ、あんな芋ッ掘は考へて御覽なねへ、庄藏樣のやうな氣の利た人が晝は來てくれるから嬉しいが、夜になると芋ッ掘が戻つて來る、矢ッ張りあんな芋ッ掘でも亭主だから妾ア嫌でも勤めなきやアならぬがな、こんな辛いことはないワ、お母ア何うかしておくれよ」はや「そりやアお前の心は能く分つてる、妾しだつて庄左衛門とね、氣兼なしに遊びたいと思つても傳吉か煙たいやな、宜いわい、良い事を考へてるから巧く傳吉をば家に置かぬやうに妾がするからね庄左衛門だつてさういつて居た庄藏どお梅とも斯ういふ仲になつて居るからお前等二人の食らふくゐなことは何うでも出來るから、傳吉さへ放出してしまふたら宜いと斯ういつて居るから妾に考へがあるわい」梅「お母ア早く出しておくれよ、妾は些との間も芋ッ掘の傍に居るのは嫌だから」はや「あゝ宜いよ、大丈夫だよ旨くして上るから、斯いふ相談が成立ゐるとは知らず星を頂いて戻て來た傳吉、自分で足を洗つて漸う座敷へ上り、食事を濟すと はや「傳吉どんお前に一寸相談をしたいことがあるから 傳「ハイお母さん、何でございますか、何所までも正直一圖の傳吉が母の前に進みますと はや「ナニ外の事でもないが朝暗い中から夜に入つてまでお前が一生懸命に稼いで、妾等親子を養ふてくれるのは嬉しいが、こんなことをして居りやア生涯働いて居ることばかり、お前が樂をする暇もないしまた萬一お前が三日でも患ふたら直ぐにその日に困る樣なことになる、イヘ夫許りではない第一越後の國で一生懸命に鋤鍬把て居た處が、迚も井上傳左衛門の家を起すことは出來やせぬうの中にお梅に子でも出來て見さつしやいそれこそ眞實に困るから、妾の考へでは繁華な土地へ行て稼だら如何かと思ひます、之が外の人なら駄目ぢやが傳吉どんの樣な働人だつたら江戸へでも行て稼ぎやア三年か四年の間には乾度纏つたお錢が蓄るに違ひない、その蓄つた金で田地田畑を買戻し、自分の手で作つて居りやア氣樂だから、ね、どうだい、傳吉どん、こんなことをして稼いでるより江戸へ御座つて、四年ど五年辛抱して下さいな、お前がさうやつて江戸の方へ出てる間は妾も遊んで居やアしません、お梅と二人相談をして使歩きから洒洗濯、女に出來るだけの仕事を精一杯して二人が食べて行きますから、お前の方で幾らか餘つた時に小使錢の少々も送つて下さりやア夫で結構だ、どうだね傳吉どん、在所で稼いで居ちやア駄目でがすよ 傳「ハイ」いはれて見ると正直一圖の傳吉だから噓言とは思はぬ 傳「御尤もでございます、成ほど私等が斯うやつて稼いで居ても駄目だ、良いことをいふて下された、お母ア樣、兎に角私ア江戸へ出まして一生懸命に働いて、幾らかお金を貯め田地田畑を買戻すことにいたしませう、私が居ねへ不在中はお梅やお母樣はさぞお困ぢやらうと思ひますが…… はや「イヘうれは傳吉どんナーニ又何うにでもして、お前が居なきやア居ないやうな心持、滅多に不自由はしやアしませんから 傳「さうでがすか、それではどうかお母さん濟まぬことだがお前樣に願ひますからのう、ぢやあ私お翌日朝江戸へ立つことにいたしますだ はや「やそりやあ嬉しいこと、ようマアその氣になつてくれました、其方は餘つぽど見込がある……お梅や 梅「お母ア何だい はや「今傳吉どんに話しをして見たらね、傳吉どんは江戸に稼ぎに行つて下さることになつたぞ、お前も傳吉どんの不在の間は今までのやうなことをして居ちやア駄目だぞ、一生懸命に稼いでくれなきやア不可ない 梅「何かい傳吉どんは江戸へ行つて稼いでくれるの、さう、そりやア良いことねへ、アゝ妾も嬉しくワ、傳吉どんは何日立つの 傳「翌日の朝立たうと思ふだ 梅「ちやア翌日の朝早う立て行つておくれ、そりやアマア結構だね」亭主が四年と五年と居ないといやア乾度女房は心細い顔でもするんだが、此奴は大違ひでホク〳〵もの



東京電報

▲兩殿下御誕辰 本日皇太子妃殿下並に第二皇孫殿下御誕辰當日に付き午前十時より妃殿下には淳宮殿下御同伴御參內兩陛下に御對顏あらせられ東宮御所へ高等官の祝賀を受け尙は兩殿下には午餐會の御催しあり參賀諸員に御陪食仰付られ兩陛下よりは夫々御祝品を賜はりたり

▲副統監の參內 近日山縣副統監は有吉總務長官等を隨へ渡韓に付き本日午前十時參內天皇陛下に拜謁仰付けらる（同上）

▲今秋の大演習 今秋の特別大演習は目下岡山附近と決定せるが同地への行幸は去る十八年以來二十五年振りにて殊に大元帥の御資格にては始めてなるが岡山縣及市に於ては今より奉迎準備に着手せり尙は行在所は縣廳を以て充て附近の建物は統監部各將校部及外國武官等の宿舍に充つる事に決定したり（同）

▲新設警務組織 新設統監府警務總監部の組織は之れを二部に分ち其の一部を執行機關とし他の一部を行政機關とし現在の憲兵及び警察機關の配備を變更し重複せるものは之れを改廢し從來の如く警察署分署派出所と稱し警視、警部、巡査、巡査補（韓人）を置き憲兵將校下士卒は警視、警部、巡査の資格を以て一般警察事務を執掌せしむ故に形式に於ては一見警察の膨脹の如く見ゆるも實質上警察機關の主腦部は憲兵隊の主腦部之れを兼任し指揮命令を一途に出し警務統一の實質を擧ぐべしと

▲拓殖局と鐵道 拓殖局は滿韓鐵道の聯絡及韓國交通未設線の速成を期し更らに又た吉會線の將來を計り其の他臺灣樺太に於ける交通機關の整備に關し極力其方針を進むべしと當局者は言明せり（同上）

▲海軍擴張內容 大藏省と海軍省とは既に內交涉成れりと傳へらるゝ海軍擴張案の內容を聞くに該案は既定計畫と全然別案にして目下列强海軍の執れる船艦標準の勢力主義により八年乃至十一年の繼續事業にして年々少くとも戰鬪艦一隻裝甲巡洋艦一隻を建造し帝國海軍力の維持に資すると共に其の裝砲も現在の十二吋二連砲の裝置に幾分の改善を試みんとするものなり而して其繼續費額の如きも隨て頗る巨額に上るべきものなりと（廿七日）

▲工場法案制定 政府は前議會撤回したる工場法案は多年の希望殊に各地商業會議所も大部贊成せるを以て次期議會に是非提出する意氣込にて各地へ技師を派し調査に着手し同法案起草者新任岡局長は批難ありし各條項に修正を加へ完全を期せり（同上）

▲佛國艦隊歡迎 日佛協會に於ては來る廿八日紅葉館にて佛國極東艦隊司令長官カストル提督及び乘組將校を招待し總裁閑院宮殿下御臨場佛國大使を初め內外紳士多數出席盛んなる歡迎會を開く由（同上）

▲明石氏の兼任乎 警察事務受託後の韓國警察は全然統監府の管轄に屬し統監の下に警務總監部を置き明石憲兵司令官警務總監を兼任すべしと（同上）

▲統監府官制內容 統監府官制改正の件は多分明二十八日發表さるべし其の內容の重なるものは既報の如く韓國警務受託に伴ふ警務部增設の件なり（同上）

▲學士號使用認可 文部省は熊本市立醫學專門學校に對し本年七月卒業生より校名を被れる學士號使用を認可したり（同上）

倫敦電報

▲日露同盟進捗 ポーツマウス談判の際露國全權委員ウイッテの隨行員たりしデイロン博士はコンデンボラリーの評論に一文を寄せ日露協約は將に調印成らんと言明し尙ほ遠からず日露兩國は完全なる同盟を結ぶべし此の同盟は追々步を進めつゝあれば米國の淸國接近を防歇するの結局を有するならんとの意見を述べたり（廿七日）

▲英國豫算案附議 英國歲入歲出豫算案は本月三十日議會に附議せらるべし（同上）

▲加奈陀と淸國人 加奈陀に入國する淸國人に對しては從來五百弗宛の人頭稅を課し居たるが加奈陀政府は更に一千弗に增加する方針なりと

伯林電報

▲獨帝平和賞牌 巴里通信に依れば獨乙皇帝は本年度ノーベル平和賞牌受領候補者に選ばれたりとあるも信疑明かならず（廿七日）

▲萬國爲替會議 同會議は目下白耳義に於て開會中なるが結局獎太利爲替法に修正を加へたるものを採用せらるべしと（同上）

▲葡國新內閣失敗 葡萄牙新內閣組織は失敗に歸せり（同上）

哈爾賓電報

▲司令官暗殺計畫 ハルピン司令官を暗殺せんとするものありたるも奏効せず何にか姿を隱り（廿七日）

警務と官制廢止

警察事務委託に關する事務引繼及警視廳官制廢止並に警察事項削除の件は勅令にて三十日發布さるべし

韓國行政の整理

日韓關係の更新と共に其內政上にも一大刷新を加ふるの結果は當然對韓經費の膨脹を來すべく而して政府に於ては之を以て來年度に於ける最も重要の問題となし他の如何なる新事業を排しても此經費の支辨に應ずべき計畫なるは既に屢々報導し置きたる所なるが試に四十三年度の豫算を以て要求せる對韓經費を見るに統監府諸費九十六萬餘圓、司法及監獄費三百三十一萬餘圓、韓國鐵道資本勘定繰入金三百五十萬圓、韓國政府立替金二百六十萬圓、東洋拓殖會社補助三十萬圓を重なるものとし統監府所屬廳舍、理事廳京城中學の新營若くは修繕費、水産組合補助、居留民教育費補助等合計約一千百十九萬圓にして之に陸海軍費を加ふれば總計約三千万圓內外の巨額に達すべし然るに近き將來更に多額の經費を增加するときは我國庫の負擔甚だ容易ならざるべきを以て來年度の豫算に於て對韓經費の增加を要求するに先ち韓國の行政組織に出來得る丈の整理を行ひ行政費に大節減を加ふるの方針なりと云ふ蓋し韓國行政組織の現狀は日韓關係尙は不確定に伴ふ當然の結果として韓國官吏と日本官吏とが二重に配置され居るの姿なれば行政の統一上甚だ不便なるのみならず隨て冗員も決して少からず卽ち行政整理を行ふの餘地綽々たるものあればなり斯の如く行政整理に依りて經費の節約を加へたる後に於て何ほ足らざるものに就き新經費を要求するの方針にて我法制局に於ては目下頻りに韓國行政整理に關する官制改正案の調查に忙殺され居れりと云ふ

●臺灣産鹽額と韓國

昨年度（昨年四月より本年三月に至る）は春來好天氣持續し臺灣官鹽の產出非常に多く總て一億一千六百四十二萬五千八百九十二斤之に前年度の繰越二千三百十六万五千四百七十八斤を合せ實に一億三千九百五十九萬一千三百七十斤に上り就中賣下高一億一千二百九十七万九千百四十六斤にして年度末の差引殘高二千六百八十一萬二千二百廿四斤と計上せり賣下高の內譯は

內地消費	三三、七九一、四六〇斤
內地移出	六〇、〇〇〇、〇〇〇
樺太移出	一〇、七〇〇、〇〇〇
韓國輸出	三、〇〇〇、〇〇〇
露領沿海州輸出	五、五〇〇、〇〇〇

就中露領沿海州及び樺太には本年度始めて輸出され韓國輸出は前年度より著るしく減少し內地移出は前年度に比し三千五百万斤を增加し居れりと

●土地調査順序現況

韓國土地調査局の測量事業は其後大に進捗しつゝあるが目下作業の一班を擧ぐれば大三角測量の基線測量として對馬、釜山の連絡測量に一組、同本點測量として大邱釜山間、仁川太田間、太田大邱間に各一組宛を派遣しあり此測量を終り次第補點測量に着手すべく小三角測量としては江華、喬桐郡に一組、慶北慶山郡附近に一組、京畿水原附近に一組の測量班あり陽根測量には京畿道富平郡內に二班、同陽川郡內に一班を派し尙調査部に於ては準備班として洞里の境界調査のため陽川郡內に一組、富平郡內に一組、大邱郡內に一組を派遣に各筆調査として富平郡內に二組、陽川郡內に一組の調査班出張中なりと

●茨城縣人會の盛況

市毛氏乃ち横綱常陸山の歡迎を兼ねたる同縣人懇親會は出席者五十餘名にして廿六日夜掬翠樓に於て開催せらる宴に先ち當番幹事遠山熙氏開會の辭を述べ續いて宴に移り半にして岡崎遠光氏の常陸山紹介の演說及峯岸本社長の相撲界八百長全廢希望の演說あり續いて常陸山の市毛氏は巨軀を起して堂々たる答辭を述べ了つて獻酬餘興に時を移し散會したるは午後十一時なりし

●植林と韓民の頑迷

慶北漆谷郡守は過般東拓の農事視察團に加はり渡日の上我が內地の山林樹藝たる現狀を目擊し歸來管內人民を諭して植林の必要を說き住民に苗木を相互配與交換せしめんとしたるに彼等は是れ後日官有林に編入し良材は政府に取上げらるゝものと誤解し一人として之に應ずるものなく之が爲めに所在警察官は其不心得を諭し漸く納得せしめたるが其頑迷多く比類なしと云ふ

●協成會と臨時總會

一進會の別働隊として生れたる國民協成會は其後勢力失墜して殆んど存在を忘れられ居たるに去る二十四日午後一時より事務所に於て臨時總會を開き左の件を協定したり

一、會長尙稷鉉辭任に付き後任に李晏宰を推す事、一、副會長に崔錫鉉を推す事、總務趙載夏退會したるに依り尹英を後任としたる事、常議長に卞道泳を選定する事

因に當日出席者は廿名にして振ざりき

●警察委託と司法廳

警察事務委託に伴ふ司法廳との關係如何を聽くに元來司法警察に就ては民刑訴訟法により司法及警察事務の委託と共に當然委託せられたるものにして今回の委託覺書は其實質よりすれば行政警察の委託と見做すを得べしと隨つて司法廳は何等の交涉なく些の影響なしといふ

●松井次官代理內訓

松井內部次官代理は今回の警察事務委託の結果各機關全部廢官となり隨つて無期廢官者と繼續就任者とを生ずべく之が爲めに危懼の念に驅られ浮腰を極めて事務の進行を阻害するものなきを保せず故に此際內訓を發して苟くも怠慢なき樣內訓を發したりと云ふ

●導掌資金公債發行

導掌に關する凡ての處分は既に其整理完了したるを以て度支部にては之れが支拂に充當する爲め導掌資金公債十一万八千餘圓を本月中に發行し夫々交附することに確定したり

●京城法學士會開催

在京城の法學士會は廿八日午後六時半より花月樓に於て水野博士の歡迎岡內部次官及原田豐次郎氏の送別會を兼ね懇親會を開く由同會員にして出席希望者は三島幹事（韓銀理事）へ通報す可と

●奧村女史の建碑式

既報の如く故奧村五百子女史建碑式は二十六日午後二時より仁川本願寺境內に於て執行せられたり當日は女史の長女俊子女史特に來仁し頗る盛況なりし

●櫻井小學授業開始

新築せし櫻井小學校に於ては昨二十七日より愈々授業を開始したり

副統監の着京期

山縣副統監は木內參與官有吉總務長官宇美內部次官大城戶秘書官佐竹土地調査局書記官を隨へ二十八日東京出發途中鄉里荻に立寄り二日光濟號に搭乘馬關仁川を經て四日朝入京の旨其の筋に電報ありたり

錦江と水力電氣

錦江の上流に位する京釜線沃川驛の有志間に頃日來水力電氣事業起業の計畫あり目下專問家は實地に就て調査中なるが優に三萬六千馬力を得る見込にて必要に應じたる殘餘を以て一の製絲會社をも設立せんと是亦た設計中なりと

繁榮會の總集會

京城東部の發展を圖る爲め設立されたる京城繁榮同盟會は二十六日午後六時より大和町梅の家に於て總會を開けり先づ幹事中村再造氏開會の辭を述べ次に田村義次郎氏の事務報告あり夫れより石井新氏幹事及會計係任期滿了に付き改選すべき旨を一同に計りしに塚崎由太郎氏の動機により前幹事の指名にて選定する事に一致し斯くて指名の結果左の七氏當選したり

塚崎由太郎、白木爲次郎、大橋信三郎、古城梅溪、田村義次郎（以上幹事）田代宗四郎、古賀岩助（以上會計係）

右終りて宴に移り宴中皆川、塚崎、關、森、中村諸氏の演說あり尙は皆川氏の發議にて左の各項を決議し午後十時過散會したり

決議案

第一、櫻井尋常高等小學校に生徒の通學するに便なる東西南北の各道路を改修又は新開すると

第二、新町下より東大門通りに通ずる道路を電車の通路と爲す可く開通せしむると

第三、明治町二丁目より永樂町を經て一直線に前記電車道路へ連絡する道路を新開すると

第四、訓練院附近の地を選定し民團經營を以て市場を設けると

第五、獎忠壇より龍山兵營前に通ずる道路を新開して新町下電車道路へ連絡せしむると

●書家吉原古城來韓

宇佐神宮宣數館中教正吉原古城氏此程來當地に來り壽町旭館に投宿せり同氏は本邦傳來の筆法を學で晉唐に溯り斯道老博士の賞贊する所となり諸縣にて縣廳裁判所門標官幣社下乘制札等を書し書博士と稱せらる、氏は諸体を兼ねたるも勅制と稱する高野山の國寶大師筆公の極細字を學で書する所のものゝ如きは肉眼見分け難き程にて稀世の妙書なりと云ふ氏亦た詩賦文章に通じ呂奎亭、兪吉濬等も深く其の古調に推服せり不日當地に於て書會を設くるの企ありとの事なりと

●韓書記官長の歸着

曾禰前統監の病氣見舞の爲め內閣を代表して東上中なるも內閣書記官韓昌洙氏は二十六日歸着したり氏の談に曰く上京後二回曾禰子爵を片瀨に訪問したり子爵は大に喜ばれ韓國の近狀等に就き長時間談話を交へられたり在韓中に比し鬢く許りに瘦せ衰へられたりと云々

●水野參事官の巡視

水野內務參事官は二十七日午前十時より內部各局課を巡視し別項內相の午餐を供せられたる後各吏員を官房に集め一場の演說を爲し夫より午後は警視廳及漢城府並に學部を視察し明二十八日に仁川へ赴き二十九日は水原に到り各官衙の視察を爲し歸京後南韓に向ふ由

●蔚山長承浦間道路

蔚山より長承浦に至る道路の改修費は地方費三千七百圓の外國庫は更に一萬圓の補助を與へ尙は日本人側よりも八百圓の寄附ある由なるが同工事は例の賦役應用によるべきは勿論の事にして來月中旬閑農期を期して起工さるべし

●榮山江浚渫と測量

永き間の懸案たりし全南榮山江浚渫問題は橋本木浦理事官外當路官憲の盡力に依り愈よ內部の許可を得て光州觀察道より不日小林道書記官土木技手を從へ同江に出張し浚渫の箇所を主とし其の實測に着手する旨去廿日附觀察道より木浦理事廳へ移牒ありたりと

●若林元總監の渡韓

若林元警視總監に關する件は別項に於て記載したるが其の後我社に達したる新消息に依れば同氏は二十八日東京出發渡韓する旨或る方面に通知ありたり

●選擧立合人の決定

京城商業會議所議員の半數改選は本月三十日に執行するに付き選擧委員長に中村理事廳通譯官立合人に中村再造田長兵衛近藤佐五郎の三氏と決定せり

●課金滯納者に注意

京城商業會議所の課金未納者は二十八日迄に納入せざれば選擧權を失ふのみならず二十九日より一般に公表する由なれば未納者は注意すべきなり

●元山觀察團引返す

二十七日入京の豫定なりし元山觀察團の一行二十余名は都合により途中漣川より引返し當地には元山每日の村井氏外一名のみ來京する由電報ありたり

●水野參事官の招待

朴內相は廿七日水野內務省參事官を大臣官房に招待して晝餐を供せり

●岡喜七郎氏の着歸

岡前內部次官は二十八日午前八時十分南大門驛着入京する筈なりと云ふ

●龍山居留民會開催

龍山民會は廿八九日頃開會の豫定なるが是れ龍山民團最終の民會ならん

●民長の記者招宴

古城京城民長は來る二十八日午後六時より當地新聞記者並に通信員を花月に招待する筈なり

●淺岡重喜氏入京

北韓新報社長淺岡重喜氏は二十六日入京浦尾旅館投宿

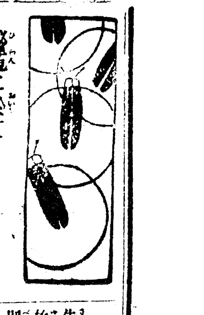
韓南地方の春蠶

（三田農商工部囑託談）

韓南に於ける春蠶の飼育收繭の狀況等を警察の爲め出張中の三田農商工部囑託の談に據れば概して在來種の成績惡しく上出來にて四分作甚しきは三眠にて放棄せるあり之に反し改良種は頗る好果を收め大邱解北村面の如き一石三十一圓の相場を以て賣却し義興共同飼育所之に次で立派なる成績を得たるは蠶業傳習所共同飼育所のみならず一般農民に於ても同成績にして同地一帶の蠶業熱は極度に達し大邱に於ては新たに十五町步余の桑園を開拓せるが昨年度の收繭量參石に過ぎざりしに今年は一躍三十石の見込なるにても如何に同地方の蠶業が長足の進步を爲せしかを知るに足るべし忠南に於ては懷德郡に於て非常に良好なるものを收め得しが確に韓南一たるべく目下の相場は一石三十五圓內外の高値を表せり此地方の在來種は同じく惡作なりしが懷德共同飼育所の試育したるものは經驗ある日本人に依りて相當の手當を施したるに拘らず繭の大さ普通改良種の三分の一位にして一石の價格僅かに六七圓なり茲に於て同地方の養蠶家も漸く在來種の劣等なる事を知得し改良種を歡迎せるが多數は來年を待ずして夏蠶秋蠶を飼育せん事を希望し蠶種の配付を申請すれど如何せん需要に應じ共給する蠶種なく夏蠶種甘付け一枚八十錢に暴騰し尙は品拂底を告げ居り秋蠶種に至りては皆無とも云ふ有樣なるが勸業模範場に蓄へしを割與する樣依賴せり要するに韓南の蠶業は非常に豐作なり如斯蠶業の發達は國家の爲め慶すべく又養蠶家が改良種の善良なるを知り在來種を排斥するに至りしは國利民福を計る上に於て非常なる效果あり喜ぶべき現象なりと云はざる可らず

▲治外法權▼

警察權の被委託もまづ無事に出來て結構に存ずる、石塚農商官や明石司令官のお骨折御苦勞に存ずる▲トコロで世間には今度の警察權委託を以て異の委託と思つて居る向もあるようだが、今度の委託は異の委託でなくて實は警察權の恢復である▲明治四十年十二月二十九日附の取極書を以て故伊藤統監は在韓日本臣民に關する警察事務を韓政府へ委託したのである、當時記者は韓政府へ委託の事の帝國憲法違反にして同時に結果の惡しかるべきことを故伊藤に向つて切論したのである▲ケレども伊藤は記者の言に聽かなかつたのである、否伊藤のみならず、世の姑息者流は一樣に記者の言に聽かなかつたのである、當時統監府は警察權の委託に因つて統監府費中の四十万圓を省き得ることを大成效の樣に自慢したのである▲本件に關して記者は帝國議會へ質問書を提出する筈であつた、時の鶴原總務長官は政府委員として辯明書を作つた、其後記者は議會で爭ふよりは寧ろ統監府をして實驗に因て其非を悟らしむるが良からうと考へた、議會へ質問書を提出せずして止んだ▲果せるかな韓政府への警察權委託は過去二ケ年半の實驗に因つて失敗たることが證明された、で記者は平素記者の豫言の當れることを遺憾に思つて居た、トコロへ今度の警察權委託が出來た、之れで統監府は前の失敗を恢復することに爲つた▲相撲の景氣は中々大したものだ、目下ドコでも寄ると觸はると話題は常陸と梅とで持切りだ、檜太鼓、觸太鼓、其音の勇ましさは實に人氣を一新する、角通、不角通皆一樣に見物する▲記者は茨城縣人會で常陸山の市毛と會飮して談偶八百長の事に及んだ、常陸曰く今や東西を通じて八百長を採る者は絕無だ、併し悲いことには今の相撲は八百長絕無の事を世人に信せしむる程に信用を持ぬと



ビショップ秘苑に於て　ターナーの相撲觀（英國僧正の大相撲評）

廿四日昌德宮秘園に上覽相撲の事行はるゝや記者も又招かる、席、ビショップターナーと隣りす、以下は師と記者との對話なるが以て外人の如何に我相撲を觀つゝあるやを推知するを得べしと信じ茲に錄す。

ピ『貴下—朝鮮國王が暢氣然長に其秘園に日本角力などを見て居らるゝ事の出來る樣に成つたのは日本即ち文明の光蔭である、十年若は二十年の前に於て誰か今日朝鮮王が秘園を公開し各國人を集めて角力を觀んことあるを豫想したるものあらんや』と感慨一番し更に語を亞ぎ『今年の日英博覽會には種々樣々の興行物が渡英せりと聞くが定めし角力も有名なのが渡英せしならん。

記『否、力士の有名なるは渡英せず……全体角力は趣味を解せられざると多人數の敵手を要するを以て外國巡業は企てられたることなし併し個人的渡歐はあり現に彼の土俵入したるチャンピオン常陸山は世界を一周し來りし者なり、

タ『然るか、日本人にして斯の如き偉大なる體格の揃つた者は一箇所では集るまいが何所にて集めたるものか、（折柄元の大砲の通り蒐りしを見つゝ）彼のゼンツルマンの如き脊の高き人達は決して一箇所にては集るまじ、

記『勿論然り、貴下が指したる紳士は元大砲と云ひし……

ピ『オオ大砲—ビツガンでしたか

記『然うです、數年前迄は常陸山、梅ケ谷の如くチャンピオンであつた大砲なり、御說の如く到底一箇所にては集まらず常陸山は水戶、梅ケ谷は北陸の方のプロベンス、國見山は四國と云ふ風に諸所より出でたる者なり、

タ『成程、併し此のチャンピオンが二人あるは如何なる理由か、尤も我國にもライトウエート（輕い選手）ヘーピーウエート（重い選手）の二者はあれども此所に見るが如き夫れの如く双方とも後者に屬するが如きことなし

記『尤もの疑問なり貴國の角力は行く先きに敵手あるも日本の此れは然らず故に同じ組合に屬するものを東西に區別し東方の夫れと西方の夫れとを出したり、時に依りては其の何方かがヘーピーなることもあり、彼の年寄花籠の如きは元荒岩と稱して常陸山と對峙したるライトウエートなりし、

ピ『同じ組合に屬するものならばフエーキコンテスト（八百長）の此間に行はる恐れなきか、而して初めより如何にして養成せらるゝにや

記『其の邊の消息は素人には知られず昔より高砂部屋雷部屋出羽の海部屋等のスクール（學派）あり角力道は心術を正しうし土俵の上の行動は苟もせざる事となり居るなり

ピ『見る所全体に年も老つて居らん樣だが何歲位より稽古して何歲位より一人前となり何年位力士としての壽命があるものにや

記『不同なるも、概して十四五歲より修業、心と體との（困難なる）ハードシープし二十二三より長きは十四五年短きは六七年の壽命で有る

ピ『然るか、所で自分が先刻より見て居て最も面白きは「初切り」なるが他の取組と相違するは如何

記『初切りは多く幕內力士の候補者として有望にして輕快巧者なる新進力士をして行はしむるものにて種々なる角力の型を見するものなれば先に手を掛けたる者が必ず勝つことになる、若し一緒に手を掛ければ勝負なしの定めなり、勝負を目的とせざる事なれば双方五分に角力ものなり

ピ『略ぼ了解したり、彼のアンパイヤ（行司）には如何なる權力あるものにや

記『行司には木村式守の二派ありて此者等及び四本柱の審判官の言には服從の義務ある規定となり居れり

此の問答中取組は進み行けりターナーは一方ならざる趣味を以て見居たり

ピ『見る所に依れば力士が取組に從はんでホールスタート（仕切り）を繰返すものあるが何の爲めなりや

記『夫れは注文の手に如何にして乘せんかを考慮し且つ意氣合せざるものあるが爲めなり

ピ『ホールスタートは我國の角力にもあり東西洋共通にして却て趣味あるを覺ふ、要するに朝鮮に於ける上覽相撲に日本の夫れを見ると云ふことは同盟國たる我々英國人の非常に非常に悅びに堪へざる所であるとて滿足の意を別るゝ際の握手に籠めたり（了）

本堂署長と駒ヶ嶽

▽東京赤坂警察署長

彼の歷代の警視總監が企圖して而して遂ぐる能はざりし東京市中掏摸の大檢擧を決行し疾風の如き勢もて其の巢窟を衝き巨魁仕立屋銀次を獲たるものを宮城縣警部より赤坂警察署長警視に榮轉したる本堂平四郎氏が其劈頭に振ひたる辣腕なりとす氏今や同縣產出の快力士駒ヶ嶽を本社長に紹介して曰く

（前略）偖て今回大角力一行渡韓の事と相成候處右一行中の駒ヶ嶽國力は小生等の推奬する快男子に有之本年春場所以來駒ヶ嶽會なるものを組織し常陸山會と連絡して目下會員八十六名有之益々盛大なるべき形勢と相成居候且つ本人は明春場所より正大關に復歸する事と內定し居る次第に有之實力に於ては先づ一品に被存候間何卒滯韓中可然御引廻し被下度奉懇囑候本人は資性剛直にして堂々些の飾氣なく眞個大力士の風有之愛すべき人物に御座候右本人は紹介旁々懇願のみ草々敬具

十七日　本堂生

蜂岸老臺硯北

と、快男子駒ヶ嶽を紹介するに此の快男子本堂氏を以てす其所を得たりと云ふべきなり

近藤氏と駒ヶ嶽

▽精巧美麗なる韓式刀

本社を通じて橫綱常陸山が初回來韓紀念として古劍一振翡翠玉三環一連とを寄贈せられたる商業會議所議員近藤佐五郎氏は更に本社に托して精巧なる透し彫鞘堂上佩用風に作られる韓式刀一振りを駒ヶ嶽關に寄贈取扱ひ方申込されたれは本社は直

大相撲の再初日

廿五日雨天の爲め入掛けとなりし東京大相撲は二十六日改めて初日を打ちたるが當日は日曜日の擧とて見物人は朝來蒜々と詰め掛け各官衙の團體見物もあり午前十一時過ぎ既に大入客止を爲したり重なる勝負左の如し

勝　負　勝　負

雷ヶ浦（預）佐の川　梅の花（預）近江富士

銚川（預）紫雲龍　八島山（預）大蛇潟

黑瀨川代

兩國（より）梅の花　玉椿（預）龍ヶ崎

朝汐（しおり）碇潟　國見山（預）大湊

駒ヶ嶽（だし）土州山　梅ヶ谷（より）大の川

常陸山（こだし）鳳

番外御好み

梅の花（預）龍ヶ崎　大の川

佐賀海　紫雲龍　大蛇潟

三日目取組（二十八日）

八房（日本海）雷ヶ浦（紫雲龍）

男島（八甲山）佐賀海（大蛇潟）

石山（近江富士）龍ヶ崎（八島山）

黑瀨川（銚川）佐の川（土州山）

兩國（大湊）大の川

梅の花（玉椿）朝汐

駒ヶ嶽（碇潟）

鳳（梅ヶ谷）（常陸山）（國見山）

大阪力士の加入

▽佐野川と天王山

昨年大木戶一行に加りて當地に來りし大阪力士の佐野川は本年五月入幕し同場所には四つの勝星を殘し一躍前頭二三枚目に昇進すべき筈之處先般大阪を脫し今回の東京相撲巡業に加入し幕內格にて土俵に上り居れり之れは大木戶一行に加はり二度迄當地に來り好人氣なりし天王山も佐の川と共に大坂を脫し今回の巡業に加はり幕下格にて土俵を務め居れり

谷川三藏の罪狀

▽請負人欺罔の一件

五月二十四日の紙上に谷川三藏拘引さると題し谷川が家屋を新築して工事金を支拂はず請負人を苦しめたる廉にて拘引せられたる大要は既報せし通りなるが去る二十五日該事件豫審終決し公判に附せられ彼が犯罪の事實を記せんに第一に請負代金の支拂を免るゝ目的を以て昨年七月より同年九月迄の間に大和町一丁目大工職姬野忠一郎に對し本町九丁目十二番戶に建築用材は谷川より供給すべければ木造瓦葺平家四棟建坪合計七十一坪の建築及同建場並に附屬工事を金二千三百四十七圓四十錢にて受負はしめ受負金は工事落成引渡しと同時に支拂ふ可き旨同人を欺罔し同年十二月九日工事落成し谷川は直ちに之を他人に賃貸し毎月金百圓以上の貸家料を收得するにも係はらず內入金なりと稱し前後數十回に合計金千七百五十圓を支拂ひたるのみにて殘金五百九十圓四十錢は該請負の請負人が本年三月頃迄に數十回請求したるも言を左右に託し支拂を爲さず且つ前記家屋に對する請負人の請求權並に强制執行を免れんが爲め最初谷川三藏名義を以て建築願書を提出しながら四十二年十一月本町七丁目一番戶當時の自分住所に於て該家屋の所有者は谷川三藏にあらずして國吉なる旨の書面を作成此に同年四月二十八日本町一丁目代書業岡田幾三郎をして同所印版師稻村千太郎に依賴彫刻せしめたる國吉の僞造印を捺印して右屆書を僞造し同年十一月二十九日京城居留民團役所に提出し之れを行使し家屋臺帳に前記四棟の建物を國吉名義に登錄せしめ第二、同年七月二十五日頃より同年十一月頃迄の間に本町七丁目石工末廣豐之助に對し前記家屋の敷地の地均し石垣石段井戶堀等の工事を合計金九百十二圓六十二錢五厘にて請負はしめ右工事を落成せしめ內金と稱し前後數十回に六百八十五圓を支拂ひたるのみにて殘金三百二十七圓六十二錢五厘は之を支拂はず第三、右末廣豐之助に對し前記請負殘代金は直ちに辨濟す可き旨欺罔し同年十一月十日頃豐之助をして谷川が小川藤右衛門に差入れたる同年二月十三日附の六十圓の借用證書並に添付しある債權讓渡證書及委任狀を提出せしめ之を騙取し第四、四十一年十二月三十一日開城府居住佐原吉太郎より豐之助に交付すべき石碑代二十五圓を交付せずして之を費消し第五、同四十一年八月頃本町七丁目の住所に於て見積原價にて購入し代金は供給を受けたる翌九月五日より十日迄の間に支拂ふ可き旨仁川木材合資會社京城出張所主任中野金八郎を欺罔し同年八月一日より十月二十八日迄の間に於て意志繼續して杉松樅等の建築用木材を代金千三百二十二圓五十六錢を騙取したる者なりと云ふ

●無鑑太夫の拘留　山口縣平民長谷川町二丁目飮食店武藏屋大西とり方仲居岸田あき（二五）は制規の健康診斷を受けずして盛んに日鮮韓人相手に密淫賣に精勵しつゝある事其筋の知る處となり遂に檢擧せられ第一、六月九日夜二階の一室に於て韓人に對し金一圓九十五錢にて第二、同月十日淸國人に金一圓にて第三、同月十三日日本人に金一圓第四、同月十四日日本人に金一圓第五同月十六日日本人に金一圓五十錢第六、同月十九日日本人に金二圓二十錢第七、同月二十一日日本人に金一圓五十錢にて密淫賣爲したる廉にて第一より七に至る行爲各拘留二日都合十四日に處せられ熊本縣平民同所主人大西秀隆は密淫賣を爲さしめたる廉にて各項各三日都合廿一日の拘留に處さる

●周章た車夫さん　西部夜珠峴唐皮洞辯護士李冕宇雇車夫林允一は二十五日明治町角力見物に主人を乘せ興行場に至り車は附近に置きしに降雨となりしより主人を乘せ歸らんとせしに車がなきより仰天して問合せしに日本人車夫が客を乘せて挽き行きたりとの事にて死に者狂になり各所を搜せしに本町四丁目前山組車夫糸田常太郎が突然の降雨にて混雜に際し狼狽して取り違へ挽き行き後にて氣付たる事判明銅峴分署に突き出したるも何等惡意なきより說諭放還さる

●桃中軒如雲の來韓

▽浪花節界の福音

桃中軒雲右衛門の高弟桃中軒如雲の一行十餘名は昨二十七日東京發二十九日來京當地歌舞伎座に於て十五日間得意の浪花節を演ずべしと

●女振り記事　編輯に付休載

今日の運勢

六月廿八日舊五月廿一日七赤先勝甲子破△一白邪魔多き日なり事業始め貸借賣買取引注意すべし其他靜善△二黑誘言に動かさるゝ勿れ假家庭家事の煩累あり△三碧謹愼を要すべき日なり種々舛錯多し色情痴情の破れを戒しむ△四綠共同組合婚談に吉其他諸事控へ目の事盜難の恐れあり△五黃貸借保證事に忌む新事旅行賣買貸借進んで吉△六白轉住轉業方針替に好良金銀證券の事故障多し△七赤新事見合せの事口腹の害畏るべし△八白出損失多き日なり其他平凡△九紫沈衰の日新事見合せの事婚談金談貸借の事効無し（本町五丁目三一館判斷）